

# 第七次 MAEBASHI DREAMS → 2027 前橋市総合計画

2025年度改訂版



## 新しい価値の創造都市

市民一人ひとりが個性と能力を生きし、個々に輝くことにより  
新しい前橋らしさを創造するまち

前橋市

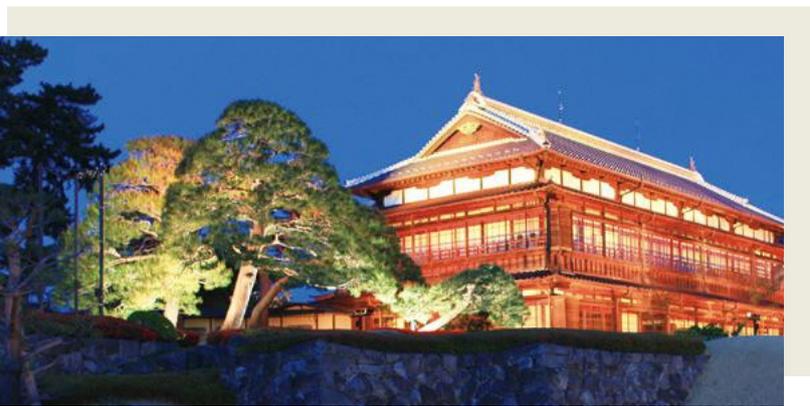


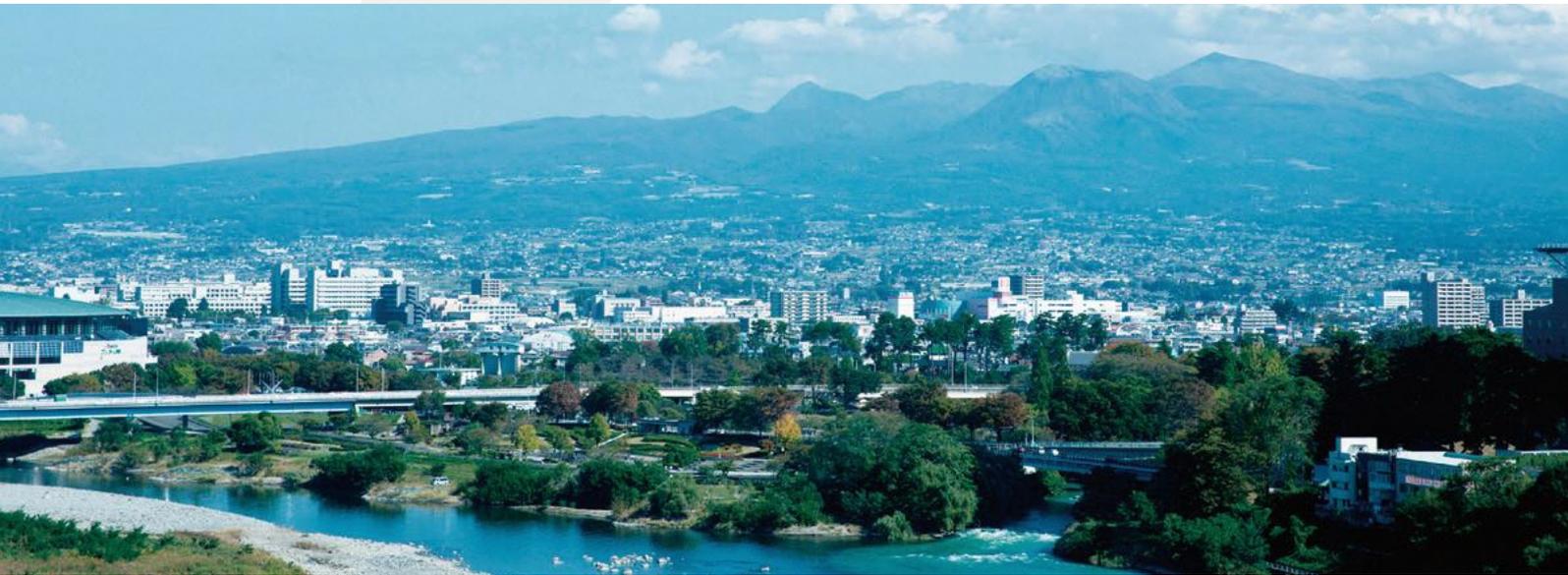
---

# 今と未来の市民を、笑顔に

MAEBASHI DREAMS —————> 2027

---





# 前橋市民憲章

## 市民の願い

わたくしたちは

水と緑と詩のまち前橋の市民です

日々のしあわせと伸びゆくこのふるさとの

明日をめざして

- 1 やさしい心をもとう
- 1 強いからだをつくろう
- 1 たのしく働こう
- 1 自然をまもろう
- 1 文化を大事にしよう

(1983年7月1日告示)

# 平和都市宣言

私たち前橋市民は、ふるさと前橋を愛し、豊かな水と緑に恵まれた自然を守り、平和なまちづくりをめざしています。しかし、世界の平和と安全にとって、核兵器の存在は大きな脅威をもたらしています。この核兵器の速やかな廃絶は人類共通の願いです。

私たちは、平和を希求する市民総意のもとに、真の永久平和が実現することを願い、ここに「平和都市」を宣言します。

(1989年3月27日議決)

# 水と緑の健康都市宣言

私たちのまち前橋は「水と緑と詩のまち」とうたわれているように、利根川、広瀬川をはじめ美しい流れと緑豊かな自然に恵まれ、多くの詩人たちを育んできました。

私たちは、前橋を誇りとし、健康で快適な都市に発展させ、素晴らしいふるさとを次代に引き継ぐため力を合わせていかなければなりません。

このため、私たち前橋市民は、水と緑を守り、文化を大切に、市民が健康で幸せな生活ができる活力ある都市の建設にまい進することを誓い、前橋を「水と緑の健康都市」とすることを宣言します。

(1989年3月27日議決)

# 前橋市環境都市宣言

私たちのまち前橋は、雄大な赤城山を背景に利根川、広瀬川などの美しい流れと緑豊かな自然に恵まれています。

この環境を楽しみ、守り、育て、将来の世代に引き継いでいくことは、私たちに与えられた権利であり、責任でもあります。

私たちは、恵み豊かな環境を守り、より良い環境を築き、人と自然が共生する環境・文化都市を創造するため、次のことを宣言します。

- 1 環境を汚すことのない、まちづくりを進めます。
- 1 動物や植物と身近にふれあえるよう、地域の自然を守ります。
- 1 美しい川の流れや木々の緑などをいかして、  
住みよいまちをつくります。
- 1 地球にやさしい環境づくりを、私たちの家庭・地域から始めます。
- 1 みんなで良い環境を守り、つくる活動に参加します。

(2004年7月29日議決)

# 市民が主役のまち「新しい価値の創造都市・前橋」を目指して

本市は、明治25年の市制施行以来、群馬県の県都として、また、北関東の中核都市として、政治・文化・産業経済を牽引する中心的な役割を担ってきました。令和4年には市制施行130周年を迎え、今後のさらなる飛躍へ向けた歩みを進めております。

近年、人口減少や少子高齢化社会の進展をはじめ、急速なデジタル化や物価高騰など、社会・経済情勢の変化は目まぐるしく、これからの生活に不安を感じる人も増えています。また、それらは今後さらに加速していくことが考えられます。

こうした状況の中でも、私たちは市民一人ひとりの幸福度（Well-being）向上に向けて取り組む必要があると考えます。本市においても、市民が心身ともに健康で、多様な価値観を認め合い、それぞれの自己実現が図られ、繋がっていくことを目指して、誰もが「自分らしさ」を発揮できるまちづくりを進めているところです。特に、「こどもは社会を元気にする原動力」を基本姿勢とし、こどもに関する施策に力を注ぐことで、経済活動の活性化や地域の担い手創出、社会保障の安定化など、将来にわたり持続可能な好循環型社会の下地をつくることを目指してまいります。

このような社会背景や政治姿勢を踏まえ、本市では第七次前橋市総合計画を見直し「第七次前橋市総合計画2025年度改訂版」を策定いたしました。

この改訂版では、第七次前橋市総合計画の基本理念であるビジョン「めぶく。～良いものが育つまち（Where good things grow.）～」、将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」として、これまでのまちづくりを継承するとともに、今と未来の市民を笑顔にするため、市民視線を追求し「市民が主役のまちづくり」という考えのもと、新たなまちづくりを推進してまいります。

また、第七次前橋市総合計画のまちづくりのキーワードである「地域経営」も継承し、市民、企業・団体、行政それぞれが、「他人ごと」ではなく「自分ごと」として、地域の課題を捉え、皆様と意見を交換し合いながら社会を作り上げていきます。

その中で、地域ごとに異なる課題解決を目指すだけでなく、特色を生かしながら、市民全体で前橋の未来をデザインしていきたいと考えています。

結びに、本計画の策定にあたり、熱心なご審議をいただきました県都まえばし創生本部有識者会議の委員の皆様並びに市民アンケートやパブリックコメントを通じ、貴重なご意見やご提案を賜りました市民の皆様にご心から感謝を申し上げます。

令和7年3月



前橋市長 小川 あきら

# 目次

---

## I 序章

|   |             |    |
|---|-------------|----|
| 1 | 計画改訂の趣旨     | 1  |
| 2 | 社会経済等の背景    | 2  |
|   | (1)社会状況     | 2  |
|   | (2)本市の現状    | 6  |
|   | (3)市民ニーズの把握 | 17 |
| 3 | 計画の構成       | 23 |
|   | (1)基本構想     | 23 |
|   | (2)推進計画     | 23 |

## II 基本構想

|   |                                   |    |
|---|-----------------------------------|----|
| 1 | ビジョン                              | 24 |
| 2 | 政策方針                              | 25 |
|   | (1)社会状況                           | 25 |
|   | (2)行動指針(市民、企業・団体、行政のそれぞれが大切にする姿勢) | 26 |
|   | (3)まちづくりの柱                        | 26 |
|   | (4)人口の目標                          | 27 |
|   | (5)土地利用の方針                        | 27 |

## III 推進計画

|     |                         |    |
|-----|-------------------------|----|
| 1   | まちづくりの方向性               | 30 |
| 2   | 重点テーマ、重点施策              | 30 |
| 3   | 計画推進に向けた取組方針            | 30 |
| 4   | 計画期間                    | 30 |
| 5   | 第3期推進計画への見直しにあたって       | 31 |
| 6   | 推進計画の構成                 | 34 |
| 7   | デジタル技術の活用で取組全般を下支え      | 38 |
| 8   | SDGsの推進～持続可能な社会を目指して～   | 40 |
| 第1章 | 人をはぐくむまちづくり(教育・人づくり)    | 49 |
| 第2章 | 希望をかなえるまちづくり(結婚・出産・子育て) | 57 |
| 第3章 | 生涯活躍のまちづくり(健康・福祉)       | 65 |
| 第4章 | 活気あふれるまちづくり(産業振興)       | 71 |
| 第5章 | 魅力あふれるまちづくり(シティプロモーション) | 79 |
| 第6章 | 持続可能なまちづくり(都市基盤)        | 89 |

## IV 計画の推進に向けて

|   |                    |    |
|---|--------------------|----|
| 1 | 計画の進行管理            | 98 |
| 2 | 計画の推進体制            | 98 |
| 3 | 新しい価値の創造都市推進プロジェクト | 98 |

|     |  |     |
|-----|--|-----|
| 資料編 |  | 100 |
|-----|--|-----|

